

梨花女子大学校と山口大学との連携プロジェクト

プロジェクトの背景

重点連携大学事業が創設された当初から、梨花女子大学校と本学東アジア研究科及び医学系研究科が共同研究、学生交流(APAHL: Asia-Pacific Alliance of Health Leaders)を行ってきた。平成29年度からは取り組みを拡大し、韓国で最初に工学部ができた伝統のある女子大であることを生かして、工学系の大学院生の学生交流ができるように対象範囲を拡大する。具体的には、応用衛星リモートセンシング研究センターへの大学院生の受け入れやものづくり創成センターが主催するSP!ED(Summer Program for Innovative Engineering Design)への教員・学生の参加を期待する。

これまでの両大学の交流実績

- 2013年10月 梨花女子大学校を重点連携大学に選定
- 2015年 8月 山口大学岡学長が梨花女子大学校を表敬訪問
- 2015年12月 山口大学三浦副学長(国際連携担当)が同校訪問
- 2016年10月 山口大学三浦副学長(国際連携担当)および
進士創成科学研究科長が同校訪問
- 2017年 2月 梨花女子大学校から国際担当副学長他2名来校

交流計画

- ・応用衛星リモートセンシング研究センターと連携し、JAXAの衛星データを活用した共同研究・学生交流
- ・ものづくり創成センターの実施するプログラムを通じた研究・学生交流
- ・学生交流
- ・日中韓学長会議等を通じた大学間連携の強化



岡学長が梨花女子大学校を表敬訪問



三浦副学長、進士創成科学研究科長が梨花女子大学校を訪問



梨花女子大学校から国際担当副学長、大学院大気科学工学科助教、スクラントンカレッジ韓国学科助教が来学